

(習志野市選出)

伊藤ひろし県議会報告



発行 伊藤ひろし千葉県議会議員事務所

〒275-0026 習志野市谷津2-1-15 電話047(779)3385

1期目、マスクで全力活動

習志野市民の命を守る

医療と防災の両輪の体制強化

コロナウイルス感染症対策 医療体制の強化

PCR検査の増強
1億6000万円・計1746件体制

病床の増加
500床超の確保

感染者を受け入れる医療機関の病床確保については、仮に毎日40人の感染者やクラスターが複数発生したとしても、受け入れられる514床を確保しました。(7月末現在279人入院)

ECMO(エクモ)装置の増設
1台当たり2100万円・19台の整備費を確保

心臓重篤患者の呼吸療法として使用する高機密な人工肺機器(ECMO・エクモ)については、既存69台でありました。今回の補正予算で、ECMOを新たに19台の整備費を確保するなど、人工肺や人工呼吸器を増設しました。

今回強い使命感を持って働いて頂いている医療従事者などに、慰労金を支給します。

勤務状況により5万・10万・20万と支給金額が異なりますが、県内約15万人が対象となります。その他、介護施設・障がい者施設に勤務する職員、約31万人も対象となります。従事者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度、自然対応の強化を望みます。

今年度、自然対応の強化を望みます。

全国一斉の不要不急な外出自粛や休業要請(緊急事態宣言)が解かれ、初めて開催された6月県議会では、感染症対策に係わる補正予算を審議しました。皆様が特に不安を抱える「県内のPCR検査の処理能力」の増強をしました。これまで、既存の検査体制672件。今回、1000超を増強し、「1日最大1746件の検査

中・軽症感染者の療養先として、医療機関の他に、臨時施設となるホテル、幕張メッセを活用した医療体制を整備しました。現在、約700床の確保状況に留まっています。

約15万人の医療従事者へ183億円の慰労金を

今年度、自然対応の強化を望みます。

今年度、自然対応の強化を望みます。

今年度、自然対応の強化を望みます。

今年度、自然対応の強化を望みます。



伊藤(寛)委員

今回の議会報告

- 1 コロナウイルス感染症対策(令和2年7月末現在)
- 2 議会質問の実績
- 3 習志野市へのまちづくり貢献
- 4 コロナ禍での活動

私は、自民党千葉県連の政策調査会(新型コロナウイルス感染症対策本部)に、習志野市内でのPCR検査体制の強化に向けた「要望書」を直接提出しました。(四月九日)その結果、県から習志野市医師会が委託を受け、五月二十三日に習志野PCR検査センターの運用が始まりました。委託内容は、ドライブスルー方式による検体採取

習志野市内のドライブスルー方式PCR検査を実施させました

市民が市内の医療機関を受診し、検査が必要と判断された場合に、医師が検査を行う。

令和2年4月9日

政策調査会
会長 松下敬二様

千葉県議会議員
伊藤 寛

新型コロナウイルス感染症対策本部
ご意見、ご要望書「医療体制の整備について」
4月8日 19:30~21:00まで開かれた習志野市医師会
第6回新型コロナウイルス感染症対策会議に同席させて
頂いたうえで、下記の事項を県当局幹部にご要望
を願いました。

1. PCR検査の増強に向けて
 - ① ドライブスルー検体の実施許可
※新潟県新潟市では先行して実施しているため、
実施体制の整備を支援して頂きたい
 - ② 検体検査機器の増設 については民間協力体制整備
 - ③ 軽症者受け入れ施設の確保に医療従事者
体制との連携整備
 - ④ PPEの確保と酸素濃度検査機の支給
2. 相談コールセンターの強化について
 - ① 人員確保、電話回線数の増設

以上

伊藤ひろし県議プロフィール

- 略歴
 - 1975年 10月生まれ(44歳)
 - 1994年 東海大学付属望洋高校卒
 - 1998年 東海大学政治経済学部卒
 - 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
 - 2019年 千葉県議会議員当選
- 現職
 - ・県議会 総合企画企業副委員長
 - ・千葉県水道事業運営審議会委員
 - ・習志野健康福祉センター運営協議会委員
- 資格
 - 中学・高校教員免許、防災士

● ウイルス感染の拡大傾向

● 日本列島、豪雨災害の発生

● ウイルス生態と自然と共生した生活



市政と県政の架け橋

習志野市へのまちづくり貢献

道路・歩道の安全「県道」

▼一般道の路面改修(茜浜・160m)



歩道の側溝蓋の改良(大久保・346m)



街頭防犯カメラ(360度全方位対応) 10台設置(JR津田沼駅周辺など)

防犯「警察」



おもてなし花壇整備 (芝園・海浜公園前)



通園・通学路の信号待ち場 への車両の進入防止 (谷津 藤崎など)



路面標示



習志野市への迅速な搬送のために 葛南地域防災備蓄倉庫(船橋市高瀬町)



▲今年度、購入した大型携帯非常用電源



▲仮設トイレ、オムツ、生理用品も備蓄

- ① 習志野市を管轄する千葉県防災備蓄倉庫。
- ② 本大久保、屋敷地区の雨水を排水する浜田川の護岸。
- ③ 千葉県の河川に整備されている水門と排水機場。
- ④ 県政報告会



▲膝を突き合わせた議会報告会 ~飛沫対策として、アクリル板と対面2mを確保(プラッツ習志野・1階和室)~



▲本大久保・屋敷の内水氾濫の防止のために ~河川への倒木未然対策を要望(千葉県役所建設局へ要望)~



▲習志野3河川の氾濫・高潮対策のために (浦安市内を流れる境川)

現地調査と議会報告会

千葉県防災倉庫と市内関係河川の護岸

防災(議会質問の実績)

災害時の避難所生活の向上

▶プライベート空間と電力供給の確保

市議会議員時代も施策の中で一番に取り組んだ「防災」。県議会1期目も県の角度から、災害時における体制強化に取り組んでおります。議会質問、県庁職員との意見交換の結果が表れてきました。

① 段ボール製品の調達に関する協定
(東京電力パワーグリッド株式会社：電源車の配備情報の提供、電力復旧に向けた倒木除去など)

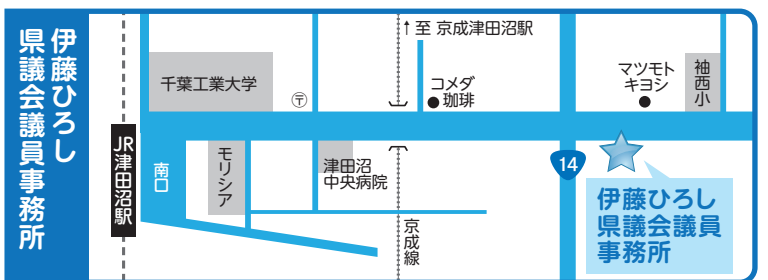
② 停電復旧及び停電の未然防止の連携等に関する基本協定

(東日本セグメント工業組合：簡易ベット、間仕切りなどの供給・運搬)

災害に強い水道供給

▶湾岸埋め立て地域の管路耐震の向上

今年度29.9kmを工事更新(昨年度より3.7km延伸)



引き続き、「習志野 ずっと住みたいまちづくり」をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛